



『この時期に思うこと』

副校長 千田 聰

早いもので、2月になりました。つい先日、年が明けたと思ったのですが、もう今年も12分の1が終了したのかと思うと、時の流れるスピードに驚くばかりです。まさしく「1月は行く」という、この時期によく言われることばを思い出します。きっとこの先の「2月は逃げる」「3月は去る」も同じように、時の流れが日々加速することを感じることでしょう。

そして同様に、この時期に言わることは、「中学校の卒業に向けて、また次の学年への進級に向けて、準備を進めましょう」です。卒業や進級といった4月に向けて、またその先にある“理想的の自分”に向けて、年度の区切りを前に準備を進めるとともに、今、何をすべきかを改めて一人一人が考え、残りの2月と3月を過ごしてほしいと思います。

以上を踏まえ、保護者の皆様におかれましても、引き続きお子様へのお声掛けやご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

さて、先月19日（月）の全校朝礼で、「多様性について」の話をしました。区立中学校の教育研究会の一環で訪問したとある企業での話から、生徒たちに「多様性とは何か」、「桐ヶ丘中の多様性とは何か」、「多様性を考える上で、今、自分たちにできることは何か」についての話をしました。「また違いは認めつつも、400人以上の生徒が生活する上では、ルールやきまりも必要であること」、「その上で多様性を認めていくことができれば、一人一人が生活しやすい場になるのではないか」とも伝えました。週明けの朝一で疲れや眠さもある中でしたが、多くの生徒たちは自分事としてとらえ、しっかりと顔を上げて話を聴く姿がありました。また、現在、桐ヶ丘中では、外国にルーツをもつ生徒が10%を超えており、今後も増えることが予想されています。そういうところからも、桐ヶ丘中学校では「多様性」について考える必要があるのではないかと思います。

最後に、自分が受験勉強をしている時に出会った言葉を3年生に送ります。

『寒さにふるえた者ほど太陽の暖かさを感じる』 W・ホイットマン

受験勉強は、先が見えず不安なことばかりですが、是非、目の前のすべきことを一つ一つ丁寧に取り組んでください。たとえどんな結果になろうとも、頑張ったことは今後の大きな成長につながります。頑張れ、受験生!!



2月の主な行事予定

3日(火)	実力テスト(1・2年)	10日(火)	都内私立高校入試(始)
4日(水)	区教研⑤カット【4時間授業】	12日(木)	SHS 生徒登校日(2年)
6日(金)	区教研④⑥カット【4時間授業】	13日(金)	避難訓練 数検 「スクペイ」登録〆切
7日(土)	土曜授業⑦	16日(月)	生徒会朝礼
	新入生保護者説明会・制服採寸	18日(水)	職員会議 部活動再登校
	学校評議員会・周年準備委員会	24日(火)	1・2年 2学期 期末考查(実技)
9日(月)	専門・中央委員会 ④カット	25日(水)	2学期 期末考查 ~ 26日(木)

2年 校外学習 都内巡り 1月23日(金)

1月23日(金)、屋上プールの水が氷るほどこの冬一番の寒さの中、2年生は校外学習で都内巡りを行いました。今回のテーマは、「平和を『願う』から『考える』へ～未来の平和は今日の学びから～」としました。これは、次年度に行う修学旅行を見据えたものでもあります。生徒たちは事前学習において、平和学習に関連する施設をチェックポイントとした行動計画を立て、どのような順番でどのルートで回るか等を決めました。当日は、朝の通勤ラッシュや事前の調べ学習では分からなかった見学地の状況、昨今の外国からの観光客の増加等で、予定されている時間通りに行動することが難しいものもありました。また、帰路では電車の運転見合わせにより、多くの班が帰りのルートを変更しての赤羽駅到着を余儀なくされました。車内で電車が動かなくなる等、突然のこと驚いたことと思いますが、本部に連絡し指示を仰ぎ、班の皆で協力しながら、何とか全班が赤羽駅に到着し、校外学習をやり遂げることができました。



令和7年度 北区立中学校連合展覧会

1月24日(土)から26日(月)まで、北とぴあにて北区立中学校連合展覧会が開催されました。今年も国語の書き初めや美術、技術、家庭科の授業で取り組んだ多くの作品が展示されました。日頃の学習の成果が発揮され、素敵な作品が並び、他の区立中学校の作品も見ることができました。また、区民の皆さんにも見ていただく良い機会となりました。



令和7年度 北区立中学校書き初め席書会

1月20日(火)、区立中学校から選ばれた生徒が明桜中学校に集い、令和7年度の書き初め席書会が行われました。本校からは2年生の石井茉梨花さんが学校代表として参加しました。緊張が伝わるほどの厳かな雰囲気の中で行われましたが、石井さんは立派に書き上げていました。



～1・2年生保護者の皆様～

『次年度運用開始予定の集金サービス「スクペイ」への保護者登録・連携手続きのお願い』

次年度より、教材費等の学校徴収金について、デジタル集金サービス「スクペイ」を導入いたします。それに伴い、保護者のアカウント登録・連携・口座登録が必要となりますので、1月始めに生徒を通じて配布しております通知（配布手順書及び個別の二次元コード）及び1/9配信の「totoru」にしたがって、順次登録をお願いいたします。〆切：2月13日(金)

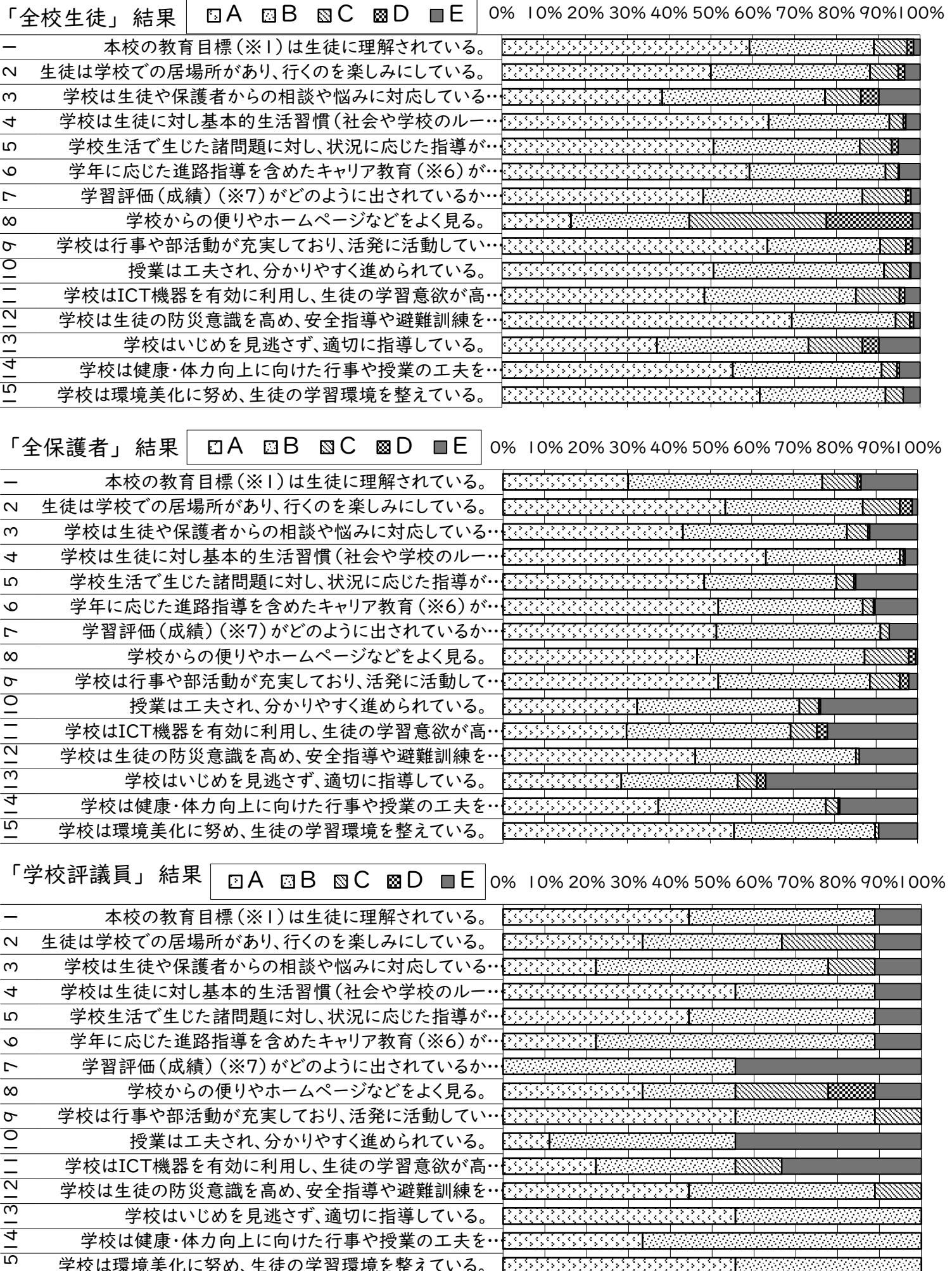
なお、ご不明な点等ございましたら、学年教員までご連絡ください。

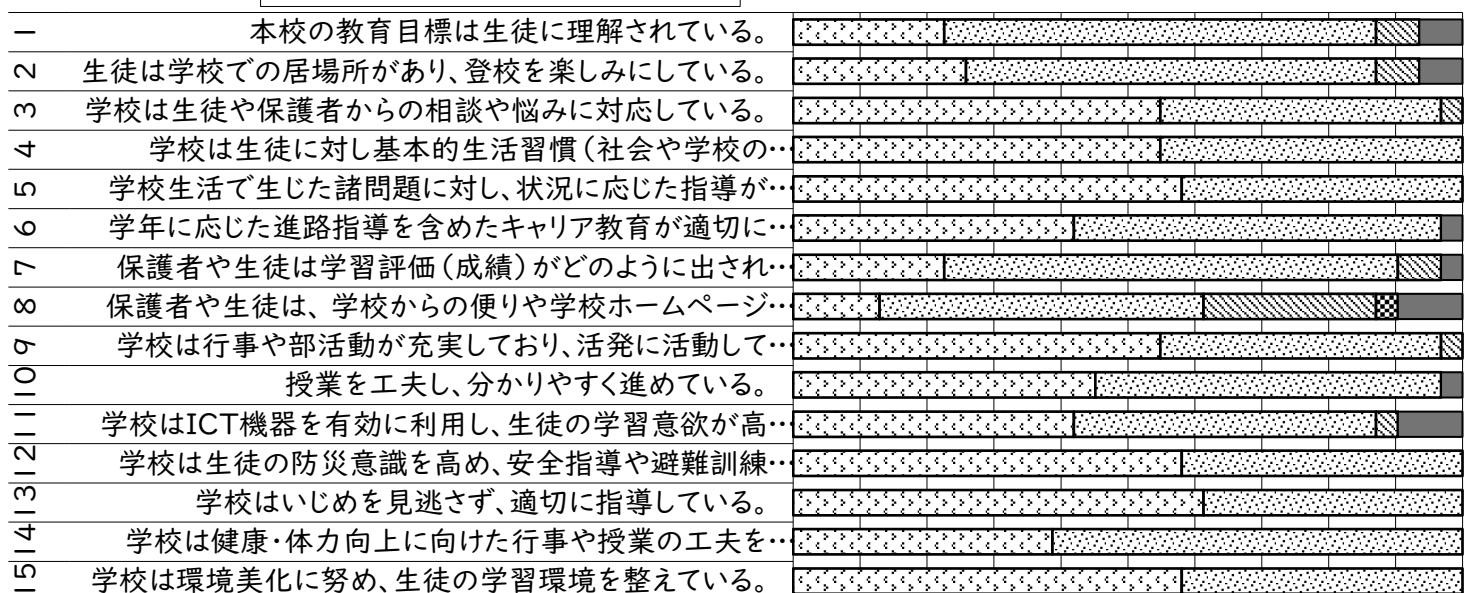
*学校ホームページでは随時、生徒の学校生活での様子を掲載しています。是非、ご覧ください。

<https://www.city.kita.lg.jp/education/junior-high/kirigaoka/dailylife/2003454/2003455/index.html>



学校評価アンケートの結果について ~ご協力ありがとうございました~





A : あてはまる B : ややあてはまる C : ややあてはまらない D : あてはまらない E : わからない

●【設問2について】 生徒の約88%、保護者の約87%が肯定的回答となりました。この割合はここ数年、高い割合を維持しており、生徒の割合は昨年度と比べ増加しています。しかしながら、生徒及び保護者の約10%弱が否定的回答となっています。このことを真摯に受け止め、その背景を考察する必要があります。学校がより多くの生徒にとって「居場所」になり、「行くことが楽しみ」な場所となることを目指し、学校生活の充実に努めてまいります。

●【設問3について】 生徒の肯定的回答が約77%となり、昨年度より増加したもの全設問の中では低い割合になりました。これに対し、教職員は約96%が肯定的回答となっています。この生徒と教職員の認識の差異は、例年見られる傾向ですが、その差異を埋めるべく、今後も教職員のアンテナを高くし、生徒一人一人に寄り添い、丁寧に生徒・保護者の相談事・悩みに対応していく必要があると考えます。引き続き、学校全体で取り組んでまいります。

●【設問5について】 生徒の肯定的回答は85%となり、状況に応じた指導は概ねされていると考えます。一方で、全学年保護者の肯定的回答は80%となりました。昨年度より差は縮まったものの、依然保護者の認識との差が存在しております。学校生活で生じる様々な問題に対し、引き続き生徒に寄り添いながらも時には毅然とした態度で指導をしてまいります。また、生徒一人一人の人格・人権を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力も高めてまいります。

●【設問10について】 生徒の肯定的回答は90%を超え、昨年度より増加しました。その要因としては、今年度の校内研修のテーマを「授業力の向上」として年度を通じて取り組んだこと、7月の生徒による授業評価の結果を受け、教師一人一人が改善を図ったことと考えられます。引き続き、「設問11」の充実を図りながら、さらなる授業の充実につなげてまいります。一方で、保護者の肯定的回答は約72%と、昨年度より増加したもの高いとは言えず、「分からぬ」との回答が昨年度同様に20%を超えていました。日頃の授業の様子について、学校公開や学年・学校だより、学校ホームページ等を活用し、発信を強化していくとともに、広報活動のさらなる充実を図ってまいります。

●【設問11について】 肯定的回答は、生徒が約73%、保護者が56%と昨年度より増加し、「分からぬ」が生徒10%、保護者37%と昨年度より減少しました。いじめの未然防止・早期発見・早期解決は引き続き全校体制で取り組むとともに、生徒に寄り添う支援・指導を学校・家庭・地域で連携して取り組んでまいります。

●【まとめ】 以上を踏まえ、肯定的回答が高かった項目は今後も継続し、否定的回答が高かった項目は各分掌等を中心に対策・取組を十分に検討し、今後の学校運営に生かしてまいります。また、今年度も保護者の回答方法をデジタルと紙の併用で実施し、回答率は約59%と昨年度より5%以上高くなりました。これは、保護者の方への負担軽減も兼ねたデジタルでの回答が普及してきていると言えます。アンケートの精度を上げていくためにも、今後もより多くの保護者に評価をいただきたいと考えます。そのためにも、保護者への周知方法について、更に工夫をしてまいります。子どもたちへの教育は、学校・家庭・地域社会が連携・協力していくものでありますので、三者が各自の果たすべき役割を把握し、確実に実行していくことが重要であると考えます。今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。